

### 3期卒業 10周年。

第3期 OG 杉山 摩美  
(旧姓：小出)

卒業からちょうど10年。久しぶりに寄稿します。昔の寄稿エッセイは恥ずかしくて見られたものではありません。あまりに偉そうなので笑。OB会に出席するのも数年ぶりですが、不思議と小野ゼミから離れた感覚はありません。それは、有難いことに(図々しいことに)1~2年に一度ゼミにお邪魔する機会を頂いていること、そして何より、常に小野ゼミ3期の皆とつかず離れず、ほどよい距離感の交流が続いているからです。そのことを、小野ゼミ3期卒業10周年の今年、ぜひ書きたいなと思っています。



11期と12期にご講演下さった著者 ありがとうございます！

小野ゼミ3期は、みっちー(中村君)、元ちゃん(熊谷君)が早々に結婚してJr.が生まれ、男子がどっと身を固めるかと思いきや、反して女子が次々と結婚し出産をしました。2015年1月時点、3期Jr.は12人(もうすぐ13人になります)。3期は妙にストイックな熱の入れ方でゼミ活動に没頭していた記憶がありますが、結婚し父母になった人、社会の先端を走り続ける人、自らのやりたいことを見つけ鍛錬し磨いている人...3期の濃密な時間を芯に持ちながら、放射状にはじけるように色んな場所に仲間がいることが感慨深いです。そのはじけた仲間には、赤い糸ほど縛らない、テグスのように透明だけど強靱な糸がついていて、

ひとたび召集がかかると、その透明の糸はするすると「3期」という芯に集まってくる。そして、ゼミ当時の未熟ゆえの熱さをぶつけ合う関係ではなく、ある程度経験を積んでいるからこそその温かさでほぐし合えるような関係。それはもうすごいこと。こんなに気持ちのよい温度があるのか、と驚くほどです。

昔と考え方も話し方もずいぶんと変わったのに、絶対的に互いが好きである、という信頼関係。それが1対1の関係ではなく、3期20人全員に対しての関係性として築かれている気がします。「そんなこと思ってるのおまえだけだよ」と言われる可能性もありますが、それも含めて私は3期が好き。Mですね。

10年経って、小野ゼミで「何」を学んだかは具体的に思い出せなくなってきました。それは脳だけでなく身体の隅々にまで溶け込んで、自分の思考と一体になって、いやほぼ丸ごと自分の思考になって切り離せなくなったから。小野ゼミの良さを相対的・客観的に語るステージは10年で終わったのだと感じています。

そしてこれからの10年、おそらく30代はいろんなことがあるでしょうから笑、小野ゼミの尊さを絶対的なものとして存分に、そして互いに享受し合うステージに入るのだらうと思います。3期の誰かがクイツとテグスを引いたら、本能的にするすると寄っていくような、そんな自分で在り続けたいです。



著者ご講演後の飲み会にて、とても仲が良い3期の方々と、先生のお写真